

三井住友海上火災保険株式会社

広報部 〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台 3-9
TEL: 03-3259-3111(代表)
www.ms-ins.com

2022年3月14日

～気候変動対策の取組状況を見る化～

独自のグリーン指標「MS Green Index」を開示

MS & ADインシュアランス グループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：船曳 真一郎）は、気候変動対策の取組状況を表す独自のグリーン指標「MS Green Index」を策定し、オフィシャル Web サイトに公開しました。

MS & ADグループは、2050 年度までに CO2 排出量を実質ゼロ（ネットゼロ）とする目標を掲げています。そのため、当社は保険引受、資産運用、自社事業の各領域において脱炭素化取組を推進し、進捗を把握するための指標「MS Green Index」を策定しました。保険引受の領域では、社会の脱炭素化等に資する商品をグリーン商品^{※1}として定義し、再生可能エネルギー発電設備や EV（電気自動車）・FCV（燃料電池自動車）等の保険引受（グリーン引受^{※2}）の年平均増収率を KPI に設定しました。

当社は、自社事業を通じて排出する温室効果ガスの削減に努めるとともに、商品・サービスの提供と投融資を通じて、脱炭素化に必要な技術開発や実装を支援し、脱炭素社会への移行に貢献していきます。

1. 背景と目的

脱炭素社会の実現には、自社事業の脱炭素化取組だけではなく、社会の脱炭素化を支える商品・サービスの提供や投融資ポートフォリオの GHG（温室効果ガス）排出量削減等、多方面で取り組んでいく必要があります。当社は、全社横断で気候変動対策に取り組むため、2021 年 4 月に経営企画部に気候変動対策チームを新設しました。6 つの領域でタスクフォース（①商品・サービス、②マーケット戦略、③資産運用、④自社事業、⑤リスク分析、⑥海外事業）を組成し、それぞれの領域で脱炭素化取組を進めています。気候変動対策という社会課題の解決に貢献し、当社も持続的に成長していくことで、社会との共通価値の創造（CSV：Creating Shared Value）に取り組んでいきます。

2. 「MS Green Index」の概要**（1）開示項目**

領域	指標（MS Green Index）	KPI
保険引受	①グリーン商品のラインアップ数	グリーン引受の年平均増収率 18% （2022 年度-2025 年度）
	②グリーン引受の年平均増収率	
資産運用	③GHG 排出量ベースでのエンゲージメント実施率	2025 年度までに GHG 排出量ベースで 70%を超える投資先とエンゲージメントを実施 ^{※3}
	④運用ポートフォリオの GHG 排出量削減目標	2050 年度投融資ポートフォリオの GHG 排出量ネットゼロ
自社事業	⑤温室効果ガス排出量の削減	2030 年度 50%削減（2019 年度比） ^{※4} 2040 年度ネットゼロ（Scope1, 2） 2050 年度ネットゼロ（Scope1, 2, 3）
	⑥社有車の電動化	2025 年度 100%
	⑦自社ビルの再生可能エネルギー導入率	2030 年度 60%、2040 年度 100%
	⑧気候変動の研修受講者数	東洋大学情報連携学部（INIAD）と連携した当社専用研修プログラム等

※1：メガソーラー総合補償プラン、小形風力発電総合補償プラン、洋上風力発電パッケージ保険、地熱発電設備総合補償プラン、グリーン電力証書安定供給支援保険、EV 充電設備損害補償特約、カーボンニュートラルサポート特約、災害時応援協定に基づく電動車等貸与時のレンタカー費用特約の 8 商品でスタートし、今後拡充予定

※2：「グリーン商品」＋「再生可能エネルギー発電設備」＋「EV（電気自動車）、FCV（燃料電池自動車）等」

※3：当社の株式ポートフォリオにおける GHG 排出量（上場株式投資先の Scope1+2）の 70%にあたる投資先と建設的な対話を実施

※4：Scope1, 2, 3（カテゴリー1, 3, 5, 7, 13） ニュースリリース [2050 年ネットゼロの実現に向けた取組み](#) について

（2）開示先

当社オフィシャル Web サイト：（URL：https://www.ms-ins.com/company/csr/climate_change/）